

「青少年指導員制度50周年」を迎えて

青葉区青少年指導員連絡協議会 会長 金子 茂文



青少年指導員制度50周年を迎えるにあたり、ご家族・地域・関係機関の皆様には深く感謝いたします。昭和43年といたしますと、東急田園都市線が開通(昭和41年)した翌々年であり、まだ港北区でした。

私が青少年指導員になった平成2年は緑区で、当時ジュニアフェスティバル・紙ヒコーキ大会(第5回)が開催されており、各区の代表の子供達が、横浜文化体育館で「滞空時間」を競い盛り上がり、私の地域では今も「紙ヒコーキ大会」として続けています。

平成6年に誕生した青葉区も、50年前は一面が山・畑・田と自然そのものでしたが、現在は30万都市となり、11月の「青葉区民まつり」では、公会堂での「ステージイベント」、地域で活動している子供達には「ライブパフォーマンス」を幼・小・中・高校生の発表の場として青指が一体となって計画運営しています。

私達を取り巻く環境は大きく変貌してまいりましたが、これからも子供達に夢や希望を育みながら歩み続けて行きたいと思えます。

「青少年指導員制度50周年記念誌に寄せて」

青葉区長 小池 恭一



青少年指導員50周年記念誌の発行おめでとうございます。

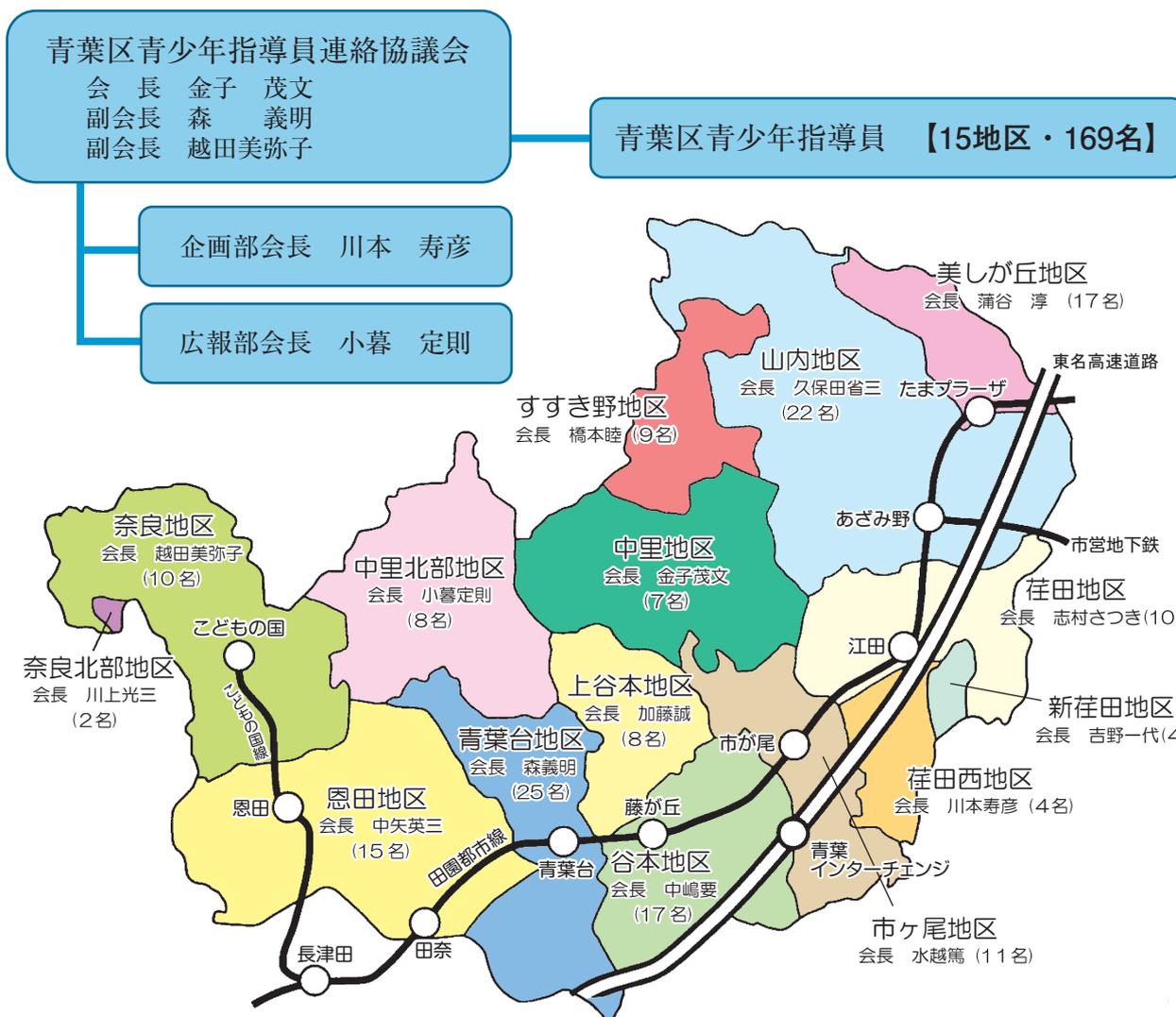
日頃より地域の活動とともに青少年の健全育成に向け御尽力を賜り心より感謝申し上げます。

青葉区は「住みつづけたい・住みたいまち青葉」を実現するため、「未来をつくる子ども・青少年一人ひとりが、様々な力を育み、健やかに成長できるまち」を目指し、青少年支援を柱の一つとする「あおばこどもシステム」を立ち上げ、乳幼児期から青少年期まで切れ目のない支援体制の構築に取り組んでいます。

青少年育成の総合的な推進には、地域のみなさま、専門機関、企業、区役所が連携し協力することが肝要で、青少年指導員のみなさまには、その中心となってこれからも一層の御参画を賜り、夢と希望あふれる横浜をともに築いてまいりたいと思えます。

今後とも、引き続きの御支援と御協力をお願い申し上げます。

青葉区青少年指導員連絡協議会 概要



横浜市の北部に位置する青葉区は、市内第一位の公園数(230)と街路樹数(15,409本)を有し、今年度は、区内を花でいっぱいにする「フラワーネックレス青葉2017」に取り組んでいます。区を中心を南北に鶴見川が流れ、川沿いには田園風景が広がり、緑豊かで閑静な美しい街並みとなっています。

青葉区役所を中心とした東エリアには、音楽に最適な音響空間を提供する「フィリアホール」、創造文化の出会いの場を作る「横浜市民ギャラリーあざみ野」があり、芸術・文化的な香りも併せ持つ「魅力的な街」となっています。また、横浜都心方面には「あざみ野駅」から市営地下鉄があり、東名高速青葉インターチェンジからは自動車専用道路の横浜環状北西線の工事が進められ、湾岸エリアへの利便性もますます高められます。区の西部は「こどもの国」や「寺家ふるさと村」など自然を生かしたエリアが広がっています。「自然が豊富で文化的で魅力ある街」の特徴を生かして、青少年の健全育成を目指して、青少年指導員169名の知恵と汗を絞り、地域ぐるみの活動を展開しています。

活動の紹介

青葉区青少年指導員連絡協議会は、年間を通して様々な行事やイベントを企画・運営していますが、主要な3大イベントと、それぞれの地区密着形で取り組んでいる代表的な活動イベントをご紹介します。

◆「青葉区民まつり」

青葉区民まつりのテーマ『地域力～共に進もう心の絆を青葉から』を共有して、青葉公会堂と屋外ステージ（区役所第二駐車場）で行うステージイベントを、参加団体の決定から当日のタイムキーパーをはじめ照明・音響に至るまで、幅広い企画・運営を企画部員15名を中心に青少年指導員77名が行っています。

今年度は、小学校6校、中学校3校、高校4校、364名の皆さんが、ダンスや吹奏楽・太鼓などを披露しました。また、一般公募8団体143名によるライブパフォーマンスも組み込まれています。

本年度のアンケート結果も「また参加したい」「運営が素晴らしかった」「出演者がいきいきとして楽しんでいた」など、出演者・入場者からも大好評でした。



中学生による楽器演奏



事前ミーティング

◆「青葉区民マラソン大会」

青葉区役所をスタート・ゴールとする10kmのマラソンコースを、区民ランナー800名が安全に完走するためのサポートスタッフとして、ランナーの受付・案内からコース・会場整理と、交通規制対応を青葉区の各団体と協力しながら、青少年指導員60名が毎年参加協力しています。



ミーティング後の集合写真



交差点での交通規制対応等



◆「青葉区研修会 in くろがね青少年センター」

青少年指導員の役割・活動について理解を深め、能力向上を図る目的で、くろがね青少年センター講師から、アイスブレイキング、体操などの指導を受けました。また、災害時等の野外炊事として、すいとん入り豚汁作りやバウムクーヘン講習などに50名の青少年指導員が励みました。



すいとん入り豚汁作り

◆「ふれあい音楽会」(上谷本地区)

中学校の吹奏楽部と子ども会の協力をいただき、100名の子ども達と40名の保護者の皆様を迎えて、「ふれあい音楽会」を毎年開催しています。日頃手にすることができない楽器に手を触れ、演奏の模擬体験ができて、子どもたちは目を輝かせていました。



中学生から指導を受けて模擬演奏



青葉区マスコット「なしかちゃん」

◆「ふるさと祭りでの中学生との共同運営」(荏田西地区)

地元の多くの人に参加するふるさと祭りを、たくさんの中学生と盛り上げたいとの思いから、屋台の共同運営を試みました。中学生は、屋台の準備・仕入れ～販売・利益管理など、実際の企業経営に携わり組織や経営の仕組みを学ぶことができました。お祭りも大成功をおさめ、中学校からも高い評価をいただきました。



わたあめ作り

【平成29年度年間イベントスケジュール】

月	合同イベント
7月	救急法講習会
7月	環境パトロール
9月	野外研修会
11月	区民まつり
11月	統一行動キャンペーン
11月	区民マラソン大会
3月	交流会

地区イベント
ドッジボール大会、グランドゴルフ大会、ラジオ体操、映画のタバ
電車工場見学、夏祭り、盆踊り、秋祭り、ふるさと祭り
ストラックアウト、縄跳び大会、各種運動会・体育祭
スポーツ大会、ウォークラリー大会、収穫祭、焼き芋大会
焼き芋・バウムクーヘンの会、餅つき大会、書初め大会
紙ヒコーキ大会、星を観る会、どんど焼き など

「元気な子どもたちとともに」

都筑区青少年指導員連絡協議会 会長 村田 幸夫



横浜市18番目の区として誕生した都筑区は、平均年齢が若く、子育て世代も多い区です。新しい区民に区の魅力をもっと知ってもらうために始めた、緑道を使ったイベント「つづき発見ウォーク」は、中高生による演奏や演技の場も加えた「つづきウォーク&フェスタ」に発展し、都筑区の秋の一大イベントとなりました。今では、毎年約700名の参加者に、日々変わりゆく都筑の街並みを散策してもらっています。過去には、大塚・歳勝土遺跡の竪穴式住居での宿泊体験や、火おこし体験を実施しました。また、地区活動として、凧作り・凧揚げ大会や、じゃが芋堀体験など、各地区で特色のある活動をしています。

私たち青少年指導員は、活動を通して「子どもたちが、健やかに、のびのびと育てほしい」という共通の思いから、地区や団体を越えた「つながり」をつくって活動しています。つながりをつくることで、多種多様な人たちとめぐり合うことができ、自分自身にも新たな発見があることが、活動をする楽しさであると感じています。今後もその楽しさを子どもたちにも体験してもらえるように、サポートしていきたいと思っています。

「ふるさと感じる都筑を築くために」

都筑区長 畑澤 健一



青少年指導員制度50周年を迎え、ここに記念誌を発行されますこと、心からお祝い申し上げます。

都筑区では、区の誕生とともに、都筑区青少年指導員連絡協議会が設立され、共にあゆみを始めてから今年で23年を迎えました。この間、人口は倍増し21万人を超え、青少年指導員の皆様も大きく増えました。

昨今、子どもたちが多様な関わり合いの中で豊かな人間性を育む場が減少しているといわれる中、青少年指導員の皆様は、いかに地域で関われる場を創出するか活発に議論し、形にして実践していただきました。都筑区の魅力である緑道で中高生と参加者が触れ合う「つづきウォーク&フェスタ」や、青少年関連施設や団体と連携した140以上のプログラムから小中高生が自ら選び、多世代と触れ合うボランティア体験「はあと de ボランティア」は、都筑区ならではの素晴らしい取組であると感じています。村田会長をはじめ青少年指導員の皆様の熱心な取組やご尽力に、心から感謝申し上げます。

これからも、青少年指導員の皆様と一緒に、ふるさと感じる都筑を築いていきたいと思っています。引き続きよろしく申し上げます。

■つづきウォーク&フェスタ (11月23日)※旧「つづき発見ウォーク」

歩いて感じる都筑の魅力

港北ニュータウン独自の魅力資源である緑道や公園を巡りながら、区にまつわるクイズを解いて回る「ウォーク」、そのゴール地点では、中学校吹奏楽部による演奏や高等学校ダンス部・バトン部による演技を披露する「フェスタ」を融合させたイベントです。区誕生の翌年の平成7年度から続いています。

運営ボランティアとして中学生に協力してもらうことで、普段関わる機会が少ない年代の人や地域の人と交流できる場にもなっています。



■はあと de ボランティア

～中高生のための夏休みボランティア体験～ (7月～8月)

ひと夏の体験が宝物に

毎年夏休みには、中高生を対象としたボランティア体験事業を実施しています。平成20年度に開始し、平成27年度からは小学校高学年向けのプレコースも同時開催しています。

参加した子どもたちは、学校も年齢も違う、初めて出会う人たちに緊張しながらも、ボランティアとして自分にできることを考えて体験することで、ひと夏で大きく成長していきます。また、サポートした大人にとっても、子どもたちや地域の可能性に気づくきっかけになっています。



■都筑区青少年支援者育成講座(青少年指導員研修会) (年2回)

青少年指導員のスキルアップのための研修会や青少年健全育成に携わる方たちに向けた講座を実施しています。他地区や他団体と、つながりができる機会です。



■主な地区活動

●都田地区

じゃがいも掘り&カレーライス



●池辺地区

夏休み体験教室・そうめん流し



●東山田地区・山田地区

凧作り・凧揚げ大会



●川和地区・ふれあいの丘地区

凧作り・凧揚げ大会



- 中川地区…チャンピオン大会、区民まつりで中学生による販売体験
- 勝田茅ヶ崎地区…夏祭り、茅ヶ崎中学校ふれあい祭
- かちだ地区…習字・墨絵教室、勝田団地盆踊り
- 新栄早湊地区…連合町内会主催の夕涼み会、スポーツフェスタ
- 佐江戸加賀原地区…佐江戸夏祭り、三世代交流会
- 荏田南区…さわやかスポーツ大会、集まれ!夏キャン
- 渋沢地区…朝のラジオ体操、レクリエーション大会
- 茅ヶ崎南MGCRS地区…夕涼み会～スポーツ推進委員と合同で子ども向けイベント
- 柚木荏田南区…夏祭りの子どもみこし、子どものためのお琴コンサート

